

事務事業名		資源物等排出支援事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	環境課
	政策	04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	係	衛生係
	施策	02	資源循環の推進	内線電話	245
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4款	衛生費	未計上	
	項	2項	清掃費	実施期間	
	目	2目	ごみ処理費	平成24年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	資源物等の排出が困難な者	意図（どのような状態にしたいのか）	資源物等が定期的に排出される。
現状・課題	登録者の転出、入院等の確認が不足している。			
市が行う理由及びその根拠	その他	市民、議会からの要望による。		
事務事業概要	高齢者世帯、介護保険対象者単身世帯及び障がい者単身世帯等における資源物の排出が困難な者に対し、個別に対象品目の収集を行う。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容			活動量
	資源物回収			12回
	有害ごみ回収			2回
	不燃性粗大ごみ回収			2回

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	644,000	353,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	644,000	353,000	360,000	
決算（見込）額 A			円	196,090	353,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
一般財源		円	196,090	353,000	360,000	
正規職員数		人	0.34	0.43	0.44	
人件費 B		円	2,187,560	2,770,060	2,834,480	
総事業費 A+B		円	2,383,650	3,123,060	3,194,480	
市民1人当たりコスト		円	56	73	75	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
支援対象世帯数		維持	目標	200 世帯	70 世帯	70 世帯		
			成果	73 世帯	73 世帯	—		
			目標					
			成果			—		
成果指標と目標値を設定した理由	資源物の排出に苦慮している市民を減少させるため。							

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	広報なかへの定期的にお知らせを掲載するなどの紙ベースの広報を行っていく。						

